

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3770102295		
法人名	株式会社山本アソシエイツ		
事業所名	グループホーム やすらぎ		
所在地	香川県高松市塩上町一丁目4番10		
自己評価作成日	令和7年1月10日	評価結果市町受理日	令和7年3月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様と家族様が安全、安心して生活できるように介護面でのケア以外に看護、医療面で迅速に対応できるように協力病院のやまもと医院の指示ですぐに対応もできる、夜間常時看護師勤務している為24時間対応できる、家族様が希望されれば看取りもきるように最後までケアをしている。
レクリエーションに関しても月一回はなるべく外出していただけるように計画を立てている。
利用様一人一人に合った暮らしを支援に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点】

交通の便が良い駅近くにある、都市型3ユニットのグループホームである。クリニックと玄関を共有して連携を図っている。医療を必要とした利用者にとって、24時間対応の医師がいて、24時間看護師が常駐しているので、緊急対応も可能である。事業所は看取りを希望している利用者や家族の要望に合わせており、医療職と介護職が互いを理解し協力して働いている職場である。利用者が清潔な環境下で、美味しい食事の提供やレクリエーション活動などを通じて、食べることや外出活動などに関心を持ち、生き甲斐や楽しみを感じながら日々を過ごせる工夫がなされている。

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アストリーム・アライアンス
所在地	香川県さぬき市津田町鶴羽2360-111
訪問調査日	令和7年1月30日

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスを職員全員で意識し、提供を行えるよう、常に理念がケアに反映しているかを話し合い、統一を図っている	法人の理念に基づき、ユニットごとに目標が決められている。また、職員個人も毎月目標を決め実践に励まれている。月1回は職員のスピーチカンファレンスを実施して、意識の統一が図られている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染的なこともあるのと近隣もマンションやアパートが多く、なかなか地域の一員として参加で出来ていない	町中で居住者が少なく、地域との関係が図りにくい一面があるが、近所の住民と知り合うきっかけとして挨拶から取組まれている	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者様家族などや施設訪問の方々には相談やアドバイスなどの支援を行えているが、地域に向けて行えていない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では市役所の職員や家族様や利用者様から意見や要望などがある時は意見等を職員全員で共有して、話し合いを行いサービスの向上に努めている	運営推進会議の参加者は介護保険課職員、家族、利用者、事業所職員で構成され、地域からの参加者がいない現状である。事業所の事業報告が主な内容であるが、利用者や家族等から意見を募るよう心掛けられている	運営推進会議へ、自治会役員や民生委員等地域の参加者が加わることで、更に事業所の知名度アップや地域との関わりの発展に期待します
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に市役所などには連絡を取り利用様や家族様などの相談など分からない事は常に確認や意見を聞き取り組んでいけるように努めている	運営推進会議では事業所の取り組みやサービスの現状を報告がなされている。不明な点等は市役所に電話をして問い合わせ、利用者や家族等にかかわる相談もなされており、頂いた意見を基に検討されている	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常には身体拘束は行わない事に取り組んでおり、利用者様の負担や生命に係る時は安全面に配慮し、頻回な巡回、密なコミュニケーションを行う事により、リスク軽減に努めている	治療中にミトン装着の利用者がいるので、身体拘束防止委員会を月に1回は開き検討が重ねられている。年2回研修も実施されており、拘束をしない実践に取組まれている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内では勉強会や研修への参加を進め常に職員のストレスになっていることはないか、コミュニケーションを密に図るように努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、勉強会を交え説明を行い、職員全員が理解でき、必要時支援できる体制作りを行っていききたい		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設見学や入居相談時等、契約に関する内容、料金制度、看取り等の説明を納得がいくよう時間をかけ行っている。最後に質問を設け、不安がなく納得がいく体制作りを行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を出入り口に設置やご意見やご要望を伝える事の出来ないご家族様の為にも随時アンケートを取るようしておりその意見やご要望については職員の間で話し合いを行い改善に努め日頃のケアの向上に活かしている	利用者の声や家族の意見や要望を聞くために意見箱の設置やアンケートの実施がなされている。集まった意見等は職員間で話し合い情報を共有して改善に努められている。結果等も、利用者や家族等にフィードバックされている	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議などで行われた話し合った内容や意見、要望は管理者と代表者が話し合いを行い、必要に応じ職員共話し合いを行い職員全員に周知できるよう、議事録を作成し周知している	アンケートの実施や、ミーティングや会議の場で職員が意見を言い易い雰囲気作りにより、風通し良い環境づくりを心掛けられている。また職員の意見や提案は、リーダーを通じて管理者に届いている。職員同士で解決できる事案は話し合い、難しいことは管理者と代表者で相談して、結果を全員で共有されている	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者よりスタッフにアンケート調査を行ったり、毎年の昇給や会合などコミュニケーションの場を設け問題はないかを聞いたりしてスタッフの仕事への向上心が図れるように努力している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎日の申し送りやケアの把握やケアの仕方の指導を行い、またスタッフが研修に参加して得た知識を研修報告書やミーティングで共有している。社内でキャリアアップ制度の導入を行いスタッフの質の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修にて交流を持ち情報を得たり他のグループホームへの見学をして意見交換を行いサービスを向上出来るように努めていきたい		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生い立ちから今まで生きてきた生活状況に加え趣味や仕事などを聴き取り声かけにて本人が困っている事や不安な事、どのような事がしたかなどお聞きし、出来る限り本人の意向を尊重し生きがいや役割を持って生活が送れるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の生活状況やご家族様の生活状況を考慮し、どのようなサービスを望まれているか、どのように生活してほしいか等ゆくりと話を傾聴するようにしご家族様の不安や心配事が少しでもなくなり安心してもらえるように最初の関わりを大事にしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いの中でご要望などをお聞きし現在の生活の中で何が出来る事で何を必要とされているかを見極め出来る限りの対応を行えるように努めてます		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その方が何が出来るかを見極め生活の中で役割を持って頂けるように努めている。スタッフと一緒に何かをする事で喜びを共感出来る関係作りをしながら支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に職員が介在し入居者様とご家族様が関わられるように機会を作ったり職員間で情報を共有している為ご家族様の面会時には必ず近況報告を行うようにしている。何か変わった事があれば電話にて連絡をしている。また「やすらぎ便り」や手紙を送ったりしてレクでの様子などを報告している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様以外の面会の時も声かけし思い出して頂くように努める他、ご家族様にも馴染みのある方の面会などや思い出の場合などの外出にも声かけするようにしている	本人から聞き取った、人や思い出の場所を話題に提供したり、手紙やはがきの投函や電話連絡を取次して関係が継続できるよう支援している。家族に外出の希望を伝え協力を求めている	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の入居者様の性格や好きな事を把握し状態や気分の変化を注意深く見守りスタッフが介在し気の合う方と過ごす場面を作り「入居者様通し」が楽しく生活が送れるように支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方や系列施設への移動をされた方に対し訪問し声かけをしたり情報交換し支援の向上に努めています		
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に利用者様や意思疎通が困難な場合は家族様から意見を聞き、本人が安心して安全に生活できるように意見を取り組める等に努めている	利用者から、好みややりたいことを聞き、また家族からの本人の希望や家族の意向も加えることで、思いや意向の把握に努め、その人らしい暮らしの実現が目指されている	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前などに時間があれば利用者様や家族様からアセスメントを取り、施設の環境に直ぐになれてもらうように努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の1日の生活パターンを把握し、それに対しての理解を深め、評価を行い活かせるようにしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様本人やご家族様のご希望・ご要望を取り入れスタッフがモニタリング・カンファレンスで話し合い一人一人の思いを考えながら介護計画を作成している。身体・精神面での状況が変化した場合はその都度スタッフ間で情報を共有し話し合い作成に活かしている	利用者や家族等の希望や要望を取り入れた介護計画が作成されている。職員はアセスメントやモニタリングを通して話し合い、意見や提案をし、より良い暮らしをできるよう支援している	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の記録をこまめに記入し日勤者・夜勤者共にいつでも情報を見る事が出来るように連絡ノートに記入し新たに気付いた事は申し送りをして常に情報を共有出来るようにして介護計画の見直しに役立てています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の後ご希望や何かしたい事があればご家族様に相談したりミーティングを行い柔軟に対応し入居者様・ご家族様に満足して頂けるように努力している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様が安心して生活をして頂けるように運営推進会議での市職員の方の参加により周辺情報の収集や支援に関する情報を頂けており今後も入居者様の生活に活用していきたい		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常には同じ建物のやまもと医院より迅速に対応しており、入居者様・お家族様のご希望や必要性に応じて他の病院への受診時も付き添いを行っている	地域の病院より紹介を受けて入居される方が多く、同じ建物から24時間オンコールの医師が担当されている患者さんが多い。歯科は訪問診療を受けられる方が多い。他の専門病院の受診は家族と共に看護師付の添いや送迎車の支援を受けることができる	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	やまもと医院看護師や各階に看護師が配属されており常時助言や相談が出来るようにしている。体調・表情の変化等を見逃さないよう早期発見に取り組んでおり、また必要に応じてやまもと医院より看護師が来てもらえるので適切な受診や処置を受けて頂いている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には入居者様への支援方法に関する情報を医療機関に提供しまた週2回程訪問しやまもと医院より往診にいられており、必要に応じ迅速に対応して頂いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「最期までここで見てもらいたい」とのご希望のあるご家族様も多数おり入居時に看取りが出来る事業所である事を説明している。重度化や看取り期にその都度状態の報告やご希望をお聞きしその時その時のご家族様の希望に添うようにし職員間で共有し希望に添ったケアの実践に努めている	看取り可能な事業所として、マニュアルを整備し、多くの職員が医療職として働いている。利用者や家族の希望に沿って支援を行い重度化や終末期には家族と連絡を取り、医師や看護師・介護と連携を取りチームワークで看取りに取組まれている	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年中看護師が配属されており夜間も在駐しており心配はないが入居者様の急変時の対応・応急手当についてのマニュアルを作成し職員が慌てて事なく対応が出来るように努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	業務継続計画(BCP)をもとに年2回の避難訓練を実施して、その際に常に職員間で話し合いを行っている、地域との協力体制はまだ、整っていない	年2回は定期的に避難訓練が実施されている。職員が分担して役割を持ち、災害対策が行われている。食料や水などの備蓄品も整備されており、定期的に点検も行われている	地域密着型事業所において、地域との協力体制や連携の構築は、相互において重要な事項の一つです。災害時の協力体制の構築をきっかけに更に地域に溶け込んだ事業所への発展に期待します
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様との会話によりその人の理解やご希望を把握し言葉遣いにも気を付け安心して落ち着いた生活環境を作れるように努めており、職員間で言葉遣いで気になる時は常に話し合いを行っている	利用者の生活ペースに合わせ、ゆっくりと丁寧に会話が交わされている。言葉遣いが気になる場合は同僚や上司に相談して言葉遣いを言い換えたり、アドバイスを貰うなど、日頃から配慮した取組みが継続されている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の入居者様への声かけを大切にしその人の思いや何がしたいかなど声かけにて引き出せるように努めている。意思疎通が困難な方は表情を読み取り入居者様の希望を尊重し実現出来るように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人一人のその日の行動に目を向け、体調面なども配慮出来るだけその人に合った生活が送れるように努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来るだけ好みなどを取り入れるようにしているが第一に清潔に気を付けている。月に一回訪問理美容を利用し、カットやカラー等をしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒になって準備などは難しいが利用者一人一人の食事形態は食べやすいようにし、気になる時は直ぐに取り組んでいる。また、月2回程度は職員の手作りの食事をアンケートを元に取り組んでいる	食事を食べてもらうことにこだわり、フードコーディネーターの意見や納入業者を多くするなど工夫が重ねられている。月に2回は手作りの食事を提供して、利用者に好評を得ている。献立は利用者アンケートして反映、提供がなされている	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表、水分摂取量などの記録により栄養バランスに気を付けている。また協力機関のやまもと医院による採血も行い栄養状態を管理してもらい食事量が少ない方などは看護師ややまもと医院に相談し対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアが十分に出来ているか確認している。出来ない方は一人一人に合った支援を行い口腔内の残渣がないか確認をして清潔を保っている。週1回の訪問歯科を利用し口腔ケアをしてもらっている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的トイレ誘導やオムツ交換以外でも排泄表を確認し定期的オムツ交換や声かけを行っている。夜間は入眠の質を上げる為ワイドパットを用意で間隔を開け入眠をしてもらいように努めている	排泄パターンを把握して、個々に対応がなされており、トイレからポータブルトイレ、尿瓶、オムツ等幅広く状態や時間により対応がなされている	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	こまめな水分補給や乳製品を取り入れて飲んでもらうようにしており便秘気味の利用者には主治医に相談しお薬などで対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の日は基本的には決めているが精神面や体調面を考慮し日時をずらしたり、入居者様の希望を取り入れ臨機応変に対応をしている	入浴は、1人あたり、週2・3回は入浴するよう促がされている。日時を決められてはいるが、心身面を考慮して臨機応変に時間をずらすなど配慮がなされている。ジェット水流の浴槽や座位浴が出来る浴槽、一般浴槽とユニットにより変化がある	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一中の活動を重視し、日中は活動を促しリズムのある日常生活が送れるように支援している。眠れない時はお茶を飲んでもらったり少し談笑をして不安を取り除き安心して眠れるように対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の処方箋をファイルに保存してあり効能・副作用等いつでもスタッフがみれるようにしておりバイタルチェックにより症状の変化を捉え健康観察に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	スタッフ全員が人生の先輩だという事を頭に置き入居者様一人一人に何か出来る役割りはないかを考え出来る役割を持ってもらい一緒に感謝の言葉を伝えるようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	なかなかその日に外出は難しいが家族様によっては前もって日時を決めて外出してもらっている。歩行が困難な方についても車椅子やリクライニングチェアで外出やレクリエーションで外へ出かけられるよう支援している	年間の行事予定を組んで、ドライブや行楽等実施されており、お出掛け先でおやつを食べるなど好評を得ている。普段は天気の良い日に家族との買い物や散策など外出支援がなされており、家族の協力も促されている。利用者の要望により近所のコンビニやスーパーへ行くことなども実施されている	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの利用様が金銭管理は家族様が行っているが、金銭所持を希望される方については、家族様の同意のもと、所持していただき、買い物の際に直接支払いができるよう、支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書ける利用様には家族様や兄弟、知人に手紙を書いてもらっており、利用様の要望で電話でのやり取りも行えている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや居室は快適に過ごせるように常に冷暖房にて温度調節をしている。また季節感を出せるような飾り付けをして落ち着ける空間作りをした、毎月施設内レクリエーションでは季節に応じた出し物に努めている	ホールは車いすの通路としても利用出来る。レクリエーションルームはリビングと食堂キッチンがあり、快適に温度調整されて明るい雰囲気となっている。BGMが流れ、壁紙の色を統一して落ち着いた感じとなっている	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に椅子を置きお一人でゆっくりと外を眺めたり、仲の良い方とお話ができる場所を設け安らげる環境作りをしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族やお孫さんの写真を置いたり思い出のある物をご家族様に持って来て頂いたり遣い慣れた物を持って使い居心地の良い日々が送れるように努めている	居室はホテル感覚で照明器具やインテリアがおしゃれである。居室は物入と洗面台、ベッドが整備されている。タンスやテレビを入れて居心地よく過ごせるようになっている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の身体状況に合わせ手すりの設置や物の配置等に配慮しつつご自分で出来る事は時間が掛かっても声かけや見守りにてゆっくりでもしてもらいように支援している		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価結果

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
I.理念に基づく運営			
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスを職員全員で意識し、提供を行えるよう、常に理念がケアに反映しているかを話し合い、統一を図っている
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染的なこともあるのと近隣もマンションやアパートが多く、なかなか地域の一員として参加で出来ていない
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者様家族なや施設訪問の方々には相談やアドバイスなどの支援を行えているが、地域に向けて行えていない
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では市役所の職員や家族様や利用者様から意見や要望などがあれる時は意見等を職員全員で共有して、話し合いを行いサービスの向上に努めている
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に市役所などには連絡を取り利用様や家族様などの相談など分からない事は常に確認や意見を聞き取り組んでいけるように努めている
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常には身体拘束は行わない事に取り組んでおり、利用者様の負担や生命に係る時は安全面に配慮し、頻回な巡回、密なコミュニケーションを行う事により、リスク軽減に努めている
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内では勉強会や研修への参加を進め常に職員のストレスになっていることはないか、コミュニケーションを密に図るように努めている

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、勉強会を交え説明を行い、職員全員が理解でき、必要時支援できる体制作りを行っていききたい
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設見学や入居相談時等、契約に関する内容、料金制度、看取り等の説明を納得がいくよう時間をかけ行っている。最後に質問を設け、不安がなく納得がいく体制作りを行っている
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を入り口に設置やご意見やご要望を伝える事の出来ないご家族様の為にも随時アンケートを取るようになりその意見やご要望については職員の間で話し合いを行い改善に努め日頃のケアの向上に活かしている
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議などで行われた話し合った内容や意見、要望は管理者と代表者が話し合いを行い、必要に応じ職員共も話し合いを行い職員全員に周知できるよう、議事録を作成し周知している
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者よりスタッフにアンケート調査を行ったり、毎年の昇給や会合などコミュニケーションの場を設け問題はないかを聞いたりしてスタッフの仕事への向上心が図れるように努力している
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎日の申し送りやケアの把握やケアの仕方の指導を行い、またスタッフが研修に参加して得た知識を研修報告書やミーティングで共有している。社内でキャリアアップ制度の導入を行いスタッフの質の向上に努めている
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修にて交流を持ち情報を得たり他のグループホームへの見学をして意見交換を行いサービスを向上出来るように努めていきたい

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生い立ちから今まで生きてきた生活状況に加え趣味や仕事などを聴き取り声かけにて本人が困っている事や不安な事、どのような事がしたいかなどお聞きし、出来る限り本人の意向を尊重し生きがいや役割を持って生活が送れるように努めている
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の生活状況やご家族様の生活状況を考慮し、どのようなサービスを望まれているか、どのように生活してほしいか等ゆっくりと話を傾聴するようにしご家族様の不安や心配事が少しでもなくなり安心してもらえるように最初の関わりを大事にしている
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いの中でご要望などをお聞きし現在の生活の中で何が出来る事で何を必要とされているかを見極め出来る限りの対応を行えるように努めています
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その方が何が出来るかを見極め生活の中で役割を持って頂けるように努めている。スタッフと一緒に何かをする事で喜びを共感出来る関係作りをしながら支援している
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に職員が介在し入居者様とご家族様が関わられるように機会を作ったり職員間で情報を共有している為ご家族様の面会時には必ず近況報告を行うようにしている。何か変わった事があれば電話にて連絡をしている。また「やすらぎ便り」や手紙を送ったりしてレクでの様子などを報告している
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様以外の面会の時も声かけし思い出して頂くように努める他、ご家族様にも馴染みのある方の面会などや思い出の場合などの外出にも声かけするようにしている
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の入居者様の性格や好きな事を把握し状態や気分の変化を注意深く見守りスタッフが介在し気の合う方と過ごす場面を作り「入居者様通し」が楽しく生活が送れるように支援している

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方や系列施設への移動をされた方に対し訪問し声かけをしたり情報交換し支援の向上に努めています
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に利用者様や意思疎通が困難な場合は家族様から意見を聞き、本人が安心して安全に生活できるように意見を取り組める等に努めている
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前などに時間があれば利用者様や家族様からアセスメントを取り、施設の環境に直ぐになれてもらうように努めている
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の1日の生活パターンを把握し、それに対しての理解を深め、評価を行い活かせるようにしている
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様本人やご家族様のご希望・ご要望を取り入れスタッフがモニタリング・カンファレンスで話し合い一人一人の思いを考えながら介護計画を作成している。身体・精神面での状況が変化した場合はその都度スタッフ間で情報を共有し話し合い作成に活かしている
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の記録をこまめに記入し日勤者・夜勤者共にいつでも情報を見る事が出来るように連絡ノートに記入し新たに気付いた事は申し送りをして常に情報を共有出来るようにして介護計画の見直しに役立てています
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の後ご希望や何かしたい事があればご家族様に相談したりミーティングを行い柔軟に対応し入居者様・ご家族様に満足して頂けるように努力している

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様が安心して生活をして頂けるように運営推進会議での市職員の方の参加により周辺情報の収集や支援に関する情報を頂けており今後も入居者様の生活に活用していきたい
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常には同じ建物のやまもと医院より迅速に対応しており、入居者様・お家族様のご希望や必要性に応じて他の病院への受診時も付き添いを行っている
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	やまもと医院看護師や各階に看護師が配属されており常時助言や相談が出来るようにしている。体調・表情の変化等を見逃さないよう早期発見に取り組んでおり、また必要に応じてやまもと医院より看護師が来てもらえるので適切な受診や処置を受けて頂いている
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には入居者様への支援方法に関する情報を医療機関に提供した週2回程訪問しやまもと医院より往診にいられており、必要に応じ迅速に対応して頂いている
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「最期までここで看てもらいたい」とのご希望のあるご家族様も多数おり入居時に看取りが出来る事業所である事を説明している。重度化や看取り期にその都度状態の報告やご希望をお聞きしその時その時のご家族様の希望に添うようにし職員間で共有し希望に添ったケアの実践に努めている
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年中看護師が配属されており夜間も在駐しており心配はないが入居者様の急変時の対応・応急手当についてのマニュアルを作成し職員が慌てる事なく対応が出来るように努めている
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	業務継続計画(BCP)をもとに年2回の避難訓練を実施して、その際に常に職員間で話し合いを行っている、地域との協力体制はまだ、整っていない

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様との会話によりその人の理解やご希望を把握し言葉遣いにも気を付け安心して落ち着いた生活環境を作れるように努めており、職員間で言葉遣いで気になる時は常に話し合いを行っている
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の入居者様への声かけを大切にしその人の思いや何がしたいかなど声かけにて引き出せるように努めている。意思疎通が困難な方は表情を読み取り入居者様の希望を尊重し実現出来るように努めている
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人一人のその日の行動に目を向け、体調面なども配慮し出来るだけその人に合った生活が送れるように努めている
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来るだけ好みなどを取り入れるようにしているが第一に清潔に気を付けている。月に一回訪問理美容を利用し、カットやカラー等をしている
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒になって準備などは難しいが利用者一人一人の食事形態は食べやすいようにし、気になる時は直ぐに取り組んでいる。また、月2回程度は職員の手作りの食事をアンケートを元に取り組んでいる
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表、水分摂取量などの記録により栄養バランスに気を付けている。また協力機関のやまもと医院による採血も行い栄養状態を管理してもらい食事量が少ない方などは看護師ややまもと医院に相談し対応している
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアが十分に出来ているか確認している。出来ない方は一人一人に合った支援を行い口腔内の残渣がないか確認をして清潔を保っている。週1回の訪問歯科を利用し口腔ケアをしてもらっている

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期のトイレ誘導やオムツ交換以外でも排泄表を確認し定期的オムツ交換や声かけを行っている。夜間は入眠の質を上げる為ワイドパットを用意て間隔を開け入眠をしてもらいように努めている
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	こまめな水分補給や乳製品を取り入れて飲んでもらうようにしており便秘気味の利用者には主治医に相談しお薬などで対応している
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の日は基本的には決めているが精神面や体調面を考慮し日時をずらしたり、入居者様の希望を取り入れ臨機応変に対応している
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一中の活動を重視し、日中は活動を促しリズムのある日常生活が送れるように支援している。眠れない時はお茶を飲んでもらったり少し談笑をして不安を取り除き安心して眠れるように対応している
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の処方箋をファイルに保存してあり効能・副作用等いつでもスタッフがみれるようにしておりバイタルチェックにより症状の変化を捉え健康観察に努めている
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	スタッフ全員が人生の先輩だという事を頭に置き入居者様一人一人に何か出来る役割りはないかを考え出来る役割を持ってもらい一緒に言い感謝の言葉を伝えるようにしている
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なかなかその日に外出は難しいが家族様によっては前もって日時を決めて外出してもらっている。歩行が困難な方についても車椅子やリクライニングチェアで外出やレクリエーションで外へ出かけるよう支援している

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの利用様が金銭管理は家族様が行っているが、金銭所持を希望される方については、家族様の同意のもと、所持していただき、買い物の際に直接支払いができるよう、支援している
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を掛ける利用様には家族様や兄弟、知人に手紙を書いてもらっており、利用様の要望で電話でのやり取りも行っている
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや居室は快適に過ごせるように常に冷暖房にて温度調節をしている。また季節感を出せるような飾り付けをして落ち着ける空間作りをした、毎月施設内レクリエーションでは季節に応じた出し物に努めている
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に椅子を置きお一人でゆっくりと外を眺めたり、仲の良い方とお話ができる場所を設け安らげる環境作りをしている
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族やお孫さんの写真を置いたり思い出のある物をご家族様に持って来て頂いたり遣い慣れた物を持って使い居心地の良い日々が送れるように努めている
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の身体状況に合わせ手すりの設置や物の配置等に配慮しつつご自分で出来る事は時間が掛かっても声かけや見守りにてゆっくりでもしてもらうように支援している

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価結果

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
Ⅰ.理念に基づく運営			
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスを職員全員で意識し、提供を行えるよう、常に理念がケアに反映しているかを話し合い、統一を図っている
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染的なこともあるのと近隣もマンションやアパートが多く、なかなか地域の一員として参加で出来ない
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者様家族なや施設訪問の方々には相談やアドバイスなどの支援を行えているが、地域に向けて行えていない
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では市役所の職員や家族様や利用者様から意見や要望などがある時は意見等を職員全員で共有して、話し合いを行いサービスの向上に努めている
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に市役所などには連絡を取り利用様や家族様などの相談など分からない事は常に確認や意見を聞き取り組んでいけるように努めている
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常には身体拘束は行わない事に取り組んでおり、利用者様の負担や生命に係る時は安全面に配慮し、頻回な巡回、密なコミュニケーションを行う事により、リスク軽減に努めている
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内では勉強会や研修への参加を進め常に職員のストレスになっていることはないか、コミュニケーションを密に図るように努めている

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、勉強会を交え説明を行い、職員全員が理解でき、必要時支援できる体制作りを行っていききたい
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設見学や入居相談時等、契約に関する内容、料金制度、看取り等の説明を納得がいくよう時間をかけ行っている。最後に質問を設け、不安がなく納得がいく体制作りを行っている
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を出入り口に設置やご意見やご要望を伝える事の出来ないご家族様の為にも随時アンケートを取るようしておりその意見やご要望については職員の間で話し合いを行い改善に努め日頃のケアの向上に活かしている
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議などで行われた話し合った内容や意見、要望は管理者と代表者が話し合いを行い、必要に応じ職員共も話し合いを行い職員全員に周知できるよう、議事録を作成し周知している
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者よりスタッフにアンケート調査を行ったり、毎年の昇給や会合などコミュニケーションの場を設け問題はないかを聞いたりしてスタッフの仕事への向上心が図れるように努力している
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎日の申し送りでケアの把握やケアの仕方の指導を行い、またスタッフが研修に参加して得た知識を研修報告書やミーティングで共有している。社内でキャリアアップ制度の導入を行いスタッフの質の向上に努めている
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修にて交流を持ち情報を得たり他のグループホームへの見学をして意見交換を行いサービスを向上出来るように努めていきたい

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生い立ちから今まで生きてきた生活状況に加え趣味や仕事などを聴き取り声かけにて本人が困っている事や不安な事、どのような事がしたいかなどお聞きし、出来る限り本人の意向を尊重し生きがいや役割を持って生活が送れるように努めている
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の生活状況やご家族様の生活状況を考慮し、どのようなサービスを望まれているか、どのように生活してほしいか等ゆつくりと話を傾聴するようにしご家族様の不安や心配事が少しでもなくなり安心してもらえるように最初の関わりを大事にしている
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いの中でご要望などをお聞きし現在の生活の中で何が出来る事で何を必要とされているかを見極め出来る限りの対応を行えるように努めています。
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その方が何が出来るかを見極め生活の中で役割を持って頂けるように努めている。スタッフと一緒に何かをする事で喜びを共感出来る関係作りをしながら支援している
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に職員が介在し入居者様とご家族様が関われるように機会を作ったり職員間で情報を共有している為ご家族様の面会時には必ず近況報告を行うようにしている。何か変わった事があれば電話にて連絡をしている。また「やすらぎ便り」や手紙を送ったりしてレクでの様子などを報告している
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様以外の面会の時も声かけし思い出して頂くように努める他、ご家族様にも馴染みのある方の面会などや思い出の場合などの外出にも声かけするようにしている
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の入居者様の性格や好きな事を把握し状態や気分の変化を注意深く見守りスタッフが介在し気の合う方と過ごす場面を作り「入居者様通し」が楽しく生活が送れるように支援している

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方や系列施設への移動をされた方に対し訪問し声をかけをしたり情報交換し支援の向上に努めています
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に利用者様や意思疎通が困難な場合は家族様から意見を聞き、本人が安心して安全に生活できるように意見を取り組める等に努めている
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前などに時間があれば利用者様や家族様からアセスメントを取り、施設の環境に直ぐになれてもらうように努めている
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の1日の生活パターンを把握し、それに対しての理解を深め、評価を行い活かせるようにしている
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様本人やご家族様のご希望・ご要望を取り入れスタッフがモニタリング・カンファレンスで話し合い一人一人の思いを考えながら介護計画を作成している。身体・精神面での状況が変化した場合はその都度スタッフ間で情報を共有し話し合い作成に活かしている
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の記録をこまめに記入し日勤者・夜勤者共にいつでも情報を見る事が出来るように連絡ノートに記入し新たに気付いた事は申し送りをして常に情報を共有出来るようにして介護計画の見直しに役立てています
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の後ご希望や何かしたい事があればご家族様に相談したりミーティングを行い柔軟に対応し入居者様・ご家族様に満足して頂けるように努力している

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様が安心して生活をして頂けるように運営推進会議での市職員の方の参加により周辺情報の収集や支援に関する情報を頂けており今後も入居者様の生活に活用していきたい
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常には同じ建物のやまもと医院より迅速に対応しており、入居者様・お家族様のご希望や必要性に応じて他の病院への受診時も付き添いを行っている
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	やまもと医院看護師や各階に看護師が配属されており常時助言や相談が出来るようにしている。体調・表情の変化等を見逃さないよう早期発見に取り組んでおり、また必要に応じてやまもと医院より看護師が来てもらえるので適切な受診や処置を受けて頂いている
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には入居者様への支援方法に関する情報を医療機関に提供しまた週2回程訪問しやまもと医院より往診にいられており、必要に応じ迅速に対応して頂いている
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「最期までここで見てもらいたい」とのご希望のあるご家族様も多数おり入居時に看取りが出来る事業所である事を説明している。重度化や看取り期にその都度状態の報告やご希望をお聞きしその時その時のご家族様の希望に添うようにし職員間で共有し希望に添ったケアの実践に努めている
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年中看護師が配属されており夜間も在駐しており心配はないが入居者様の急変時の対応・応急手当についてのマニュアルを作成し職員が慌てる事なく対応が出来るように努めている
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	業務継続計画（BCP）をもとに年2回の避難訓練を実施して、その際に常に職員間で話し合いを行っている、地域との協力体制はまだ、整っていない

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様との会話によりその人の理解やご希望を把握し言葉遣いにも気を付け安心して落ち着いた生活環境を作れるように努めており、職員間で言葉遣いで気になる時は常に話し合いを行っている
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の入居者様への声かけを大切にしその人の思いや何がしたいかなど声かけにて引き出せるように努めている。意思疎通が困難な方は表情を読み取り入居者様の希望を尊重し実現出来るように努めている
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人一人のその日の行動に目を向け、体調面なども配慮し出来るだけその人に合った生活が送れるように努めている
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来るだけ好みなどを取り入れるようにしているが第一に清潔に気を付けている。月に一回訪問理美容を利用し、カットやカラー等をしている。
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒になって準備などは難しいが利用者一人一人の食事形態は食べやすいようにし、気になる時は直ぐに取り組んでいる。また、月2回程度は職員の手作りの食事をアンケートを元に取り組んでいる
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表、水分摂取量などの記録により栄養バランスに気を付けている。また協力機関のやまもと医院による採血も行い栄養状態を管理してもらい食事量が少ない方などは看護師ややまもと医院に相談し対応している
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアが十分に出来ているか確認している。出来ない方は一人一人に合った支援を行い口腔内の残渣がないか確認をして清潔を保っている。週1回の訪問歯科を利用し口腔ケアをしてもらっている

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期のトイレ誘導やオムツ交換以外でも排泄表を確認し定期的オムツ交換や声かけを行っている。夜間は入眠の質を上げる為ワイドパットを用意て間隔を開け入眠をしてもらいように努めている
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	こまめな水分補給や乳製品を取り入れて飲んでもらうようにしており便秘気味の利用者には主治医に相談しお薬などで対応している
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の日は基本的には決めているが精神面や体調面を考慮し日時をずらしたり、入居者様の希望を取り入れ臨機応変に対応している
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一中の活動を重視し、日中は活動を促しリズムのある日常生活が送れるように支援している。眠れない時はお茶を飲んでもらったり少し談笑をして不安を取り除き安心して眠れるように対応している
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の処方箋をファイルに保存してあり効能・副作用等いつでもスタッフがみれるようにしておりバイタルチェックにより症状の変化を捉え健康観察に努めている
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	スタッフ全員が人生の先輩だという事を頭に置き入居者様一人一人に何か出来る役割りはないかを考え出来る役割を持ってもらい一緒に言い感謝の言葉を伝えるようにしている
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なかなかその日に外出は難しいが家族様によっては前もって日時を決めて外出してもらっている。歩行が困難な方についても車椅子やリクライニングチェアで外出やレクリエーションで外へ出かけるよう支援している

自己	外部	項 目	自己評価
			実践状況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの利用様が金銭管理は家族様が行っているが、金銭所持を希望される方については、家族様の同意のもと、所持していただき、買い物の際に直接支払いができるよう、支援している
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を掛ける利用様には家族様や兄弟、知人に手紙を書いてもらっており、利用様の要望で電話でのやり取りも行っている
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや居室は快適に過ごせるように常に冷暖房にて温度調節をしている。また季節感を出せるような飾り付けをして落ち着ける空間作りをした、毎月施設内レクリエーションでは季節に応じた出し物に努めている
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に椅子を置きお一人でゆっくりと外を眺めたり、仲の良い方とお話ができる場所を設け安らげる環境作りをしている
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族やお孫さんの写真を置いたり思い出のある物をご家族様に持って来て頂いたり遣い慣れた物を持って使い居心地の良い日々が送れるように努めている
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の身体状況に合わせ手すりの設置や物の配置等に配慮しつつご自分で出来る事は時間が掛かっても声かけや見守りにてゆっくりでもしてもらうように支援している